



## 折爪歩き自然を探求

(6月2日、折爪岳山開き＝関連記事5頁)

主な 内容	新たな村議員12人の顔ぶれ……………	2～3	味彩の会……………	7
	折爪岳山開き……………	5	生涯学習アカデミー「村内めぐり」……………	10
	東京多摩交響楽団演奏会……………	6	年長児親子運動会……………	16

## 村議12人を選出

村議会議員選挙が6月4日に告示され、9日に  
 投票が行われました。今後4年間（令和元年7  
 月1日～令和5年6月30日）の村政を担う人を決

める今回の選挙に15人が立候補しました。  
 ここでは、当選した新議員12人の顔ぶれや投票  
 票の結果をお知らせします。

**氏名（敬称略）**  
 行政区・年齢・当選回数  
 ※得票数順に掲載  
 し、候補者氏名は  
 戸籍上の氏名、年  
 齢は令和元年7月  
 3日現在です。



**久保 えみこ**  
 荒谷・61歳・⑤

①農業 ②豊かな自然  
 と子どもたち ③誰も  
 が安心して暮らせる村  
 づくりと若者が定住で  
 きる支援に取り組むこ  
 と ④一生懸命 ⑤ど  
 の子にも行き届いた教  
 育の九戸村を



**岩淵 智幸**  
 妻の神・61歳・①

①無職  
 ②人情に厚い村民と豊  
 かな自然  
 ③若者が定住できる環  
 境づくり  
 ④報恩謝徳  
 ⑤皆さまが住み続け  
 た  
 い村創りを目指します



**川戸 茂男**  
 山根・68歳・②

①農業 ②次世代を担  
 う子どもたち ③子ど  
 もたちのためのよりよ  
 い教育環境整備 ④  
 日々研鑽 ⑤子育てし  
 やすい村・高齢者が安  
 心して生活できる村づ  
 くり



**中村 國夫**  
 南田・71歳・⑤

①農業 ②自然の豊かさ  
 と将来を担う子どもたち  
 ③若者の定住と雇用創出  
 伊保内高校の存続、教育・  
 子育て支援の充実と農業  
 振興 ④一期一会 ⑤住  
 民サービス向上と村民の  
 皆さまと共に歩む村政を  
 推進するため、全力で取  
 り組んでまいります



**山下 勝**  
 鹿島・55歳・①

①無職 ②村民の優し  
 さ、夢ある子どもたち  
 ③役所任せの自治体運営  
 から「村民が主役の村づ  
 くり」への早期改革  
 ④信念・one for all・all  
 for one ⑤村民全員が  
 村政に参加する意識をよ  
 り高めていけるように、  
 必死に駆け回ります



**坂本 豊彦**  
 道地・65歳・④

①農業  
 ②元気な子どもたち  
 ③「農業を柱とする産  
 業振興」「少子化対策と  
 子育て支援」「教育環境  
 の充実」  
 ④和  
 ⑤村民目線で!!



**大崎 優一**  
 雪屋・66歳・④

①農業  
 ②豊かな自然と人情の  
 良さ  
 ③村民との対話と理解  
 ④忍耐  
 ⑤ヤル気と自己責任



**古館 巖**  
 雪屋・89歳・⑭

①農業  
 ②九戸村と地域の文化  
 ③小中一貫校の計画通  
 りの実施  
 ④誠実と信念  
 ⑤村政発展に献身する



**渡 保男**  
 川向・70歳・④

①農業  
 ②豊かな自然と子ども  
 ③農業振興と教育の充  
 実  
 ④我、事において、後  
 悔をせず  
 ⑤豊かで活力のある村  
 づくり

## 投票率は81.13% 期日前投票率は26.58%

選挙当日の有権者数は4,988人（男2,361人、女2,627人）で、投票者総数は4,047人（男1,903人、女2,144人）、投票率は前回の平成27年を3.31ポイント下回る81.13%（男80.60%、女81.61%）となりました。

期日前投票は6月5日から8日までの4日間に1,326人（男574人、女752人）が利用し、同投票率は26.58%でした。

### 投票所別の投票結果

投票区	投票所	有権者数	投票者数	投票率
1	宇堂口地区農村婦人の家	182	146	80.22%
2	平内公民館	315	253	80.32%
3	村老人福祉センター	613	487	79.45%
4	山根集落センター	304	268	88.16%
5	荒谷桂藤会館	256	223	87.11%
6	伊保内ふれあい会館	818	665	81.30%
7	村山村開発センター	737	574	77.88%
8	小倉ふれあい会館	178	147	82.58%
9	長興寺多目的集会施設銀杏会館	604	496	82.12%
10	雪屋集落センター	84	76	90.48%
11	田代生活改善センター	125	89	71.20%
12	江刺家ふるさとセンター	403	315	78.16%
13	細屋ふれあいセンター	182	151	82.97%
14	おりつめ構造改善センター	187	157	83.96%
	合計	4,988	4,047	81.13%

### 現職8人、元職2人、新人2人が当選

開票は多くの参観人が見守る中、村公民館で行われ、新議員12人が決まりました。党派別では無所属11人と日本共産党1人で、現職8人、元職2人、新人2人が当選しました。

### 《 開 票 結 果 》

	得票数	候補者名	年齢	党派等
当	344	川戸茂男	68	無・現
当	337	坂本豊彦	65	無・現
当	309	渡保男	70	無・元
当	300	岩渕智幸	61	無・新
当	299	山下勝	55	無・新
当	284	古館巖	89	無・現
当	281	久保えみ子	61	共・現
当	274	中村國夫	71	無・現
当	264	大崎優一	66	無・現
当	263	保大木信子	59	無・現
当	263	櫻庭豊太郎	77	無・元
当	240	桂川俊明	62	無・現
	231	高崎覺志	74	無・現
	210	上村昇	70	無・現
	132	小松聡純	49	無・現

※得票数が同数の場合は、届け出順に掲載しています。



保大木 信子  
伊保内下・59歳・②

①自営業 ②自然と素直な子どもたち ③小中一貫校、校舎新築の再検討 ④一生懸命 ⑤村民一人一人の幸せのため、声を聞き実現に向け頑張っていきたい



櫻庭 豊太郎  
小倉・77歳・④

①農業 ②豊かな自然 ③若者の働く場の創出 ④努力 ⑤村民の声を第一に尊重し、村政課題に取り組みます



桂川 俊明  
瀬月内・62歳・④

①会社役員 ②自然の豊かさ ③産業界の担い手 ④子どもたち ⑤若者が定住し地域の絆により一家庭からできる村づくり



優勝を果たした9分団（前列は操作員）

5/26  
(日)

第52回村ポンプ操法競技会

# 9分団 優勝杯を奪取

5月26日、第52回村ポンプ操法競技会が村体育センター駐車場で開催され、村内15の分団から209人が参加しました。

小型ポンプの部とポンプ車の部、2つの部門に分かれ、指揮者の「操作始め」の号令から火点を倒すまでの素早さや、機械器具を使用するにあたっての動作の確かさを競いました。

操作員は就業後や休日を利用し、

練習に励みました。九戸分署の署員や先輩団員などから、動作や機械器具の取り扱い方法などを聞き練習に取り組みました。本番では大勢が見守る中、緊張を物ともせず練習した動作をてきぱきと行い、各操作員が精一杯の力を出し切りました。

その結果、ポンプ車の部では第2分団が13連覇を果たし、小型ポンプの部では、第9分団が第14分団の牙城を崩し、優勝杯を奪取しました。

## 《ポンプ車の部》

- ▽第1位 2分団（186・0点）
- ▽第2位 10分団（159・0点）
- ▽第3位 1分団（153・5点）

◆個人賞（○内の数字は所属分団名）

- ▽指揮者 橋場豊一 班长 ⑩
- ▽1番員 田澤直樹 団員 ⑩
- ▽2番員 橋啓壘 団員 ②
- ▽3番員 下村忠志 団員 ⑩
- ▽4番員 山本猛輝 団員 ②

## 《小型ポンプの部》

- ▽第1位 9分団（93・5点）
- ▽第2位 14分団（同点）
- ▽第3位 8分団（85・5点）

※同点の場合は、計時審査の秒数が速い分団が上位となります。

◆個人賞（○内の数字は所属分団名）

- ▽指揮者 柳平善行 班长 ⑦
- ▽1番員 篠山啓輔 団員 ⑧
- ▽2番員 岩淵信毅 団員 ⑭
- ▽3番員 向川雄将 団員 ⑦



ホースを持って走る橋壘さん（第2分団）

## サマージャンボ宝くじ販売中！

《問い合わせ》

岩手県市町村振興協会（☎019-651-3461）

7月2日（火）から、『サマージャンボ』と『サマージャンボミニ』の宝くじを各300円で販売しています。ぜひ、お買い求めください。

▷販売期間 7月2日（火）～8月2日（金）

▷抽せん日 8月14日（水）

▷賞金 サマージャンボ7億円（1等5億円・前後賞各1億円合わせて）  
サマージャンボミニ5千万円（1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて）

★宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

**サマージャンボ7億円**  
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

**サマージャンボミニ5千万円**  
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

**7月2日火** 2種類同時発売!

各1枚300円  
発売期間 7/2(火)～8/2(金)  
公益財団法人岩手県市町村振興協会

6/2  
(日)

折爪岳山開き

## 初夏の折爪岳を歩く



参加者全員で記念撮影（折爪岳山の家）

6月2日、折爪岳山の家で、折爪岳山開きのセレモニーが開かれました。セレモニーには当村をはじめ、二戸市や軽米町から150人が参加。山開きを祝いました。

セレモニー開始前、荒谷・長興寺・江刺家の自然愛護少年団員とその引率者など35人が、山頂を目指して初夏の折爪岳を歩きました。

オドデさまの滝を出發した一行は、村山友会の岩瀬好生さん（71）を先頭に山頂に向けてウォーキングしました。折爪五滝で足を止め、それぞれの滝の特徴などを聞きました。また、ウォーキングをしながら植物も観察。児童たちは、身近な折爪岳の自然を耳と目で感じていました。

折爪岳山頂に到着した児童たちは、別ルートで登山をした村山友会員23人と合流。セレモニーに参加しました。セレモニーでは、折爪岳振興協議会長の藤原淳二戸市長のあいさつから始まりました。藤原市長は、「素晴らしい景観を後世に残していくことを約束。今年一年災害や事故のない穏やかな折爪岳になることを祈念します」とあいさつ。当村や二戸市、軽米町の3市町村がピッケル交換をしました。3市町村が交流を深め、折爪岳のさらなる振興を誓いました。

自然観察会では、荒澤作郎さん（軽米町）が、折爪岳に自生するブナの木やヒメホテルについて分かりやすく解説。児童や一般の参加者は、感心しながら自然について観察していました。

参加者は山頂に設置されたいすなどに腰掛け、眼下に広がる景色を見ながら、おにぎりや鶏汁など振る舞われた料理に舌鼓を打ちました。その後行われた伝楽座の公演には、江刺家神楽保存会が出演。注連切舞と剣舞が行われました。

折爪岳ウォーキングとセレモニーに参加した大崎未来さん（伊保内小6年）は、「いろいろな葉っぱを知ることができたし、いろいろな角度から景色を見ることができて良かった」と爽やかに話しました。



ピッケル交換をする小笠原耕悦さん（中央）たち



岩瀬さんを先頭に新緑の中を歩く児童



優雅で壮大なメロディーを奏でた東京多摩交響楽団



思い思いに指揮棒を振る生徒

「翼をください」を元気よく歌う児童

# むらのわだい

— Kunohe's Topics —

## 優 東京多摩交響楽団演奏会 優雅な旋律にうっとり

6月21日、村体育センターで東京多摩交響楽団演奏会が開かれ、村内の学生や村民など587人が来場しました。

同楽団は、「凱旋行進曲」や「ウィリアムテル序曲」など8曲を演奏しました。演奏前には、楽器がその曲でどのような役割や効果があるのかなど、分かりやすく解説。来場者は関心を持ちながら演奏に耳を傾けていました。また、プロの演奏と共に「翼をください」を合唱。そして指揮体験も行われ、体験者は思い思いの指揮棒さばきを見せ、会場から笑いを誘いました。演奏会に訪れた福田巧さん（伊保内高校2年）は、「初めて聴く曲もあったが、演奏に感心し音楽に興味を持つことができた」と満足げに話しました。

普段聞くことのできない優雅な旋律に、来場者はうっとり聞き入っていました。

## 甘 九戸中生 盛岡で販売体験 茶の魅力 村外に発信

5月29日、九戸中学校の2年生49人が盛岡市内で、甘茶の販売体験を行いました。生徒は、イオン盛岡とクロステラス、らら・いわての3カ所で、甘茶の魅力を村外に発信しました。

甘茶の特徴などが書かれたチラシを配布したり、甘茶の試飲を提供したりと、それぞれが役割を持ち甘茶をPRしました。チラシ配りをした水上鈴さんは、「チラシを渡す時の言葉遣いやタイミング、商品説明が難しかった」と振り返りました。



甘茶について説明する生徒（写真提供=九戸中学校）



男子児童に負けじと果敢に取り組みました

## 好 長興寺小で相撲遊び 取組に歓声飛び交う

6月1日の長興寺小学校では、相撲遊びの千秋楽が開かれ、児童38人が全力を出し好取組を見せました。

当日は授業参観も兼ねて行われ、多くの保護者や地域住民が集まりました。女子児童と男子児童が分け隔てなく相撲に取り組みました。女の子が男の子を投げ飛ばしたり、1分以上の長時間にわたり組み合ったりと、土俵間際の好取組に会場からは歓声が飛び交っていました。

## 歯 戸田小で歯科衛生講話 と健康の関係性学ぶ

6月6日の戸田小学校では、児童38人と保護者2人が歯科衛生講話を受講。伊保内歯科医院の伊保内利一院長を講師に、口内の病気や歯と健康の関係性について学びました。

伊保内先生は実際のむし歯の症例を見せながら、そのむし歯の特徴やむし歯になった経緯などを解説。また、「歯を大切にすることは体を健康にすることに繋がる」と繰り返し話しました。児童たちはむし歯にならないように、講話に耳を傾けていました。



歯の大切さを学んだ児童と講師の伊保内先生（丸枠内）



「かわらけ」を手に取り観察する児童

## 平 江刺家小で出前授業 泉の歴史をひも解く

6月10日、江刺家小学校で世界遺産の出前授業が行われ、同校の5、6年生7人が平泉についての学習をしました。

県文化スポーツ部振興課の藤尾洗平さんが、平泉の建造物や歴史について解説しました。児童は、平泉に関するクイズに挑戦したり、柳之御所遺跡から出土した「かわらけ」と呼ばれる土器を観察したりと平泉についての関心を深めました。

修学旅行を前に、みんなで平泉の歴史についてひも解きました。



## 安 B & G安全祈願祭 心安安全な運営を祈願

B & G 海洋センターの安全祈願祭と開所式が6月20日、同センターで行われ、五枚橋久夫村長や村内各学校の校長などが出席。海洋センターの安心で安全な運営を祈願しました。

祈願祭では千葉和彦宮司が、修祓や祝詞奏上をし安全を祈願。開所式では五枚橋村長が、「子どもたちが安全で楽しく利用できることを願う」と事故なく安全な運営になるよう願いました。



祝詞奏上をする千葉宮司<sup>㊦</sup>と低頭する参加者



がんづきの作り方を継承する小井田スミさん（右から2番目）

## 郷 味彩の会に18人 土料理 次世代へ継承

6月11日、村山村開発センターで味彩の会が開かれました。村民18人が参加し、九戸の郷土料理を作りました。

村生活改善グループの会員3人が、がんづきとそばがき（そばぎゃあもち）の作り方を参加者に継承。初めて作る参加者もいて、相談し合いながら協力して作っていました。

味彩の会は、郷土料理や生活の知恵などを次世代に継承する目的で行われています。



## 友達の輪 ⑤1



林千尋さん  
27歳・戸田下

介護福祉士として、二戸市の特別  
養護老人ホームわくわく荘で働いて  
います。

- ◆趣味は？ K・POPの音楽やD  
VDを観賞することです。
- ◆休みの日は？ ドライブをします。  
最近、姉と田沢湖に行きました。
- ◆思い出は？ ライブで千葉県や新  
潟県など訪れたとき、有名なものや  
景色を見ることができたこと。
- ◆今後の目標は？ ケアマネージャー  
の資格を取得すること、職場で自  
分が企画した行事をまたやりたい。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介し  
ていくコーナーです。

## むらの文芸

### 第374回 くのへ俳句会

菅野 岑子

淡雪の初恋のごと消えやすく  
進む道きまりたる子や山笑ふ  
一片の雪のせ咲けり犬ふぐり  
雪少しのせて父母眠る墓  
開かんとおちよぼ口なる椿かな  
冬部 雪女  
樹々の香をまとひて歩く薄暑かな  
崩れ初む牡丹王者の気迫かな  
万緑やとうとうと落つ「おどで滝」  
山門をくぐれば浄土若葉風  
万緑や終活の一步踏み出せり

熊避けの鈴を響かせ山登り

田村 畦畔

父の日や一言感謝と贈物  
一週間蟬の声消す選挙カー  
休耕の畑一面杉菜生え  
杉菜の如く強く生きたし八十路過ぎ  
病院の待ち時間長し五月晴  
山法師病院通いの並木道

高嶋ふみ女

したたかな勧誘手こずる夕薄暑  
懐妊し禁煙促す父の日に  
診断はいずれも加齢牡丹散る  
入れ替えし箏笥の中や衣更え  
夏場所や平幕優賞朝の山  
花莫蔭にくるん四月児寝返りし

館村 青村

## 元気スマイル ⑤1



欠端サトさん  
昭和16年12月25日生・77歳(妻の神)

健康でいるように毎日心掛けて  
いるという欠端さん。普段はほう  
き作りをしています。

- ◆趣味は？ レース編みなど手芸  
をすること。
- ◆幸せなことは？ 良い夫に出会  
えたこと。83歳になった今でも、  
送迎などしてくれます。
- ◆思い出は？ 職場の旅行で金沢  
や九州に行ったことです。
- ◆元気の秘訣は？ シルバー教室  
に参加し、仲間と一緒に体操して  
おしゃべりをするということです。

日は高く昇りて村の薄暑かな  
父の日や彼の世に在す父と母  
ぼうたんを華麗に活けし閑居かな  
青葉雨煙る鎮守や熊野館  
筒鳥や世塵を逃れ離れ庵  
麦藁帽田舎俳人田舎の句  
老鶯や孤独楽しき離れ庵

【五月席題詠より】

髪洗う出湯の香りがつと鼻に  
冷や汗を握る応援高校野球  
逆さ景見事に映す植田かな  
母の日や心を込めて鮎握る  
青葉風杖も身体の一部なり  
杖握ることもりハビリ夕薄暑  
令和の世に頼む余生や風薫る  
田んぼ道植田代田や風さやか

(ふみ女)

(畦 畔)

(雪 女)

(青 村)

こんにちは！

丸戸村地域包括支援センターです！

助け合いの村を目指して

## さいかみ 妻の神シルバー教室

村内サロン紹介 ～パート①～

★村では、介護予防に取り組む住民主体のサロンが村内各所で行われています。今回は「妻の神シルバー教室」を紹介します。

### ★妻の神シルバー教室のはじまりと取り組み

妻の神シルバー教室は、村の転倒予防教室を妻の神集落センターで開催したことをきっかけに、「みんなが集まるの面白いなあ！」「集落センターを使って何かできないかな？」という参加者たち

からの声で始まりました。平成29年1月から村の運営でシルバーリハビリ教室を月2回開催し、同年10月からは自主運営に移行しています。

毎月第2・4水曜日の10時から、シルバーリハビリ体操とお茶っこ飲みを行い、移動販売車が来たらおのこの買い物をして解散です。

### ★お出掛けを目標とした体操に取り組みます

同教室では、年1回のお出掛けを目標とした体操に取り組んでいます。平成29年度は就志森登山、平成30年度は雨堤み散策を実施。そして本年度は、6月12日に折爪岳登山を行いました。ボランティアで村田勝義さん(73)と林定恵さん(81)



折爪岳山頂で記念撮影

に案内をしてもらい、折爪岳展望台から頂上、山の学び含までウォーキングをし、おにぎり弁当と手作りの漬け物でほっとひと休み。弘法大師が杖をついたことで湧いたとの由来がある錫状の泉で長生きの湧き水を飲みました。来年はどこに出掛けようか、また話し合っけて目標を決め、そこに向けて月2回、シルバーリハビリ体操で介護予防に取り組みます。



近くのサロンを知りたい人、地域で集まってみたい人は、地域包括支援センター(☎42-2111)へ気軽にお問い合わせください。

### ★生活支援体制整備協議体とは

▽助け合い活動が定着し、困ったときに「すけでけろ(手伝って)」と声をあげやすい村

▽子どもから高齢者まで、多世代が気軽に集まり、声を掛け合える通いの場がある村

▽ごみ出しや除雪、買い物など身の回りの生活支援が充実している村

これらを目指して、助け合いをつなげ広げる活動に取り組む住民主体の話し合いの場のことです。

### ★第2回協議体会議

5月20日、第2回目の協議体会議が行われました。今回は「通いの場」「見守り」「生活支援」「移動支援」などさまざまな助け合い活動のうち何から始めたらいいか、ニーズの掘り起こしはどのようにするのがいいかを話し

合いました。

意見交換では、「高齢者だけでなく子どもも気軽に来られるような世代間交流ができればいい」「生活支援も必要だが、まず何が必要なのかニーズを拾うことが必要」「ニーズを掘り起こすには小さい単位で実際の声を聞く」「見守りも自治会や行政区などの小さい単位が取り組みやすい」などの意見が出されました。

意見を集約し、「自治会・行政区単位で助け合いのニーズの掘り起こしと見守り活動を進める」「通いの場を充実させ、地域の助け合いの拠点をつくる」という、より具体的な目標が設定されました。

### ★協議体の愛称について

皆さまからの多数の投票ありがとうございます。投票結果が決まりました。愛称を発表します。



生涯学習アカデミー

平安時代から戦国時代の高地性集落

6月4日、村内で生涯学習アカデミーが開かれました。村内から21人が参加し、平安時代から戦国時代にかけての高地性集落について学習。村内の史跡をめぐるしました。

参加者は熊野館、大名館、天下森、大向館の順に歩きまし。村内めぐりの講師として、滝谷博さん(67)が史跡を案内。平安時代から戦国時代までに起きたできごとや、当時のような生活があったのかなどを解説しました。また、当時の九戸政実の歴史についても解説。参加者の木村正樹さん(70)や山本勇さん(82)も補足説明をしました。

史跡を歩いた参加者は、平安時代から戦国時代の高地性集落についての解説をうなずきながら聞き、関心を深めていました。



熊野館を解説する滝谷さん(左) 現在は草場が広がる大名館跡



材料を組み立てていく参加者



女性教室

100円均一で鮮やか小物入れ

6月13日、村山村開発センターで女性教室「DIYに挑戦しよう」が開かれました。なないろデザイン代表の山地友子さんを講師に13人が参加。鮮やかな小物入れ作りに挑戦しました。すのこや木の棒など、すべての材料が100円均一で手に入るものを使用し、

小物入れを作りました。参加者はボンドやのこぎりなどを使い、同じ班の参加者と協力しながら組み立てていきました。最後に、それぞれが好みの色をつけ、オリジナルの小物入れを完成させていました。この小物入れは、産業芸術祭に展示される予定です。

九曜塾

塩の道と縄文時代の歴史を学ぶ

6月8日の九曜塾では、御所野縄文博物館(二戸町)で縄文時代の歴史について学びました。当初は塩の道学習の予定でしたが、あいにくの雨により博物館の見学に変更されました。バスで向かう途中、山友会の岩瀬好生さんから塩の道「赤牛街道」や九戸峠の

入り口、庚申塔、来田のバス停「茶屋場」の地名の由来などの説明を聞きました。博物館では、縄文時代の歴史と土器などを学びました。見学後に九戸村に戻った参加者は、村内で採れた山菜を使った、たけのこ飯やウルのひつつみなど9品を堪能。おかわりをする

出土した展示物を見学



などおいしそうにほお張っていました。

# 九 戸 中 学 校

## 健闘の中総体

3日間に渡って行われた、二戸地区中学校総合体育大会において、今年も選手たちは県大会出場に向けて、熱戦を繰り広げました。

1日順延した野球競技準決勝において、7回表まで4点リードしていた当校でしたが、7回裏に相手に逆転を許し、悔しい結果となりました。また、柔道・卓球女子においては、個人戦で優勝するなどの活躍を見せました。県大会出場を果たした

チームおよび個人は次のとおり。  
 ▼卓球男  
 子・女子  
 団体戦第2位▼バスケツト  
 ボール女子  
 子第2位▼卓球女子個人戦  
 第1位・觸澤彩莉▼卓球男子個人戦第3位・櫻庭貫之  
 ▼柔道女子個人戦63キロ級  
 第1位・月花美羽▼柔道男子個人戦55キロ級第2位・千田悠斗



会場で記念撮影

(副校長 山崎弘貴)

## Books

❖ 今月のおすすめ図書

### 「また、必ず会おう」と誰もが言った。

喜多川 泰 著／サンマーク出版



熊本県に住む高校生の和也は、同級生についたささいなうそが原因で夏休みに一人東京へ行くことになってしまう。帰りの飛行機に乗り遅れ困っていた和也は、空港の売店で働く女性に助けられる。そこから熊本に帰るための旅が始まる。

### くさなぎ 草薙の剣

橋本 治 著／新潮社

何で僕はこんなところにいるのだろう？

10代から60代まで、10歳ずつ年の違う男たちを主人公に、彼らの父母から祖父母までさかのぼり、戦前から平成の終わりまで、普通のリアルな日本人の心の100年を描く。



### みそ汁はおかずです。

瀬尾 幸子 著／学研プラス



第5回料理大賞受賞！  
 「具」が多くて、おなかいっぱいになって、「みそ」があれば誰でも作れる。野菜もいっぱい食べられる。簡単に作れるみそ汁の本。みそ汁は最高のおかずなのです。

### ええことするのは、ええもんや！

くすのき しげのり 作／えほんの杜

学校からの帰り道。車いすで動けなくなって困っているおちゃんに出会ったマナブ。ちょっとそこまで押してあげるはずだったけど…。

ボランティアって誰のためにするものなの？



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時  
 ○休館日／年末年始

## 伊保内高校 火災を想定した避難訓練

教諭 古川 望

5月29日、地震に伴う火災を想定した避難訓練が行われました。災害時に近い状況設定のため、生徒への事前連絡をせずに行いましたが、生徒は先生の指示を聞いて、落ち着いて避難することができました。

消防の人からの講習では、ハンカチを持たない生徒が多くいたことやハンカチで口を押さえて煙を吸わないことで、命の安全が図られることが伝えられました。初期消火の訓練では、3年生の代表生徒が消火器を持って素早く放水。その生徒は「実際に消火の動きを体験することができた。火災には遭わないほうがいいが、あったときには役立ちたい」と言っていました。東日本大震災から8年。災害はいつ起こるかわかり

ません。こうした訓練を通して準備が非常時における落ち着いた行動につながる。と再認識させられました。



避難訓練での講習の様子

## 熱中症を防ぎましょう

いよいよ夏も本番。近年は猛暑となる夏が多く、心配されるのが熱中症です。

### ■熱中症とは

高温多湿な環境で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節がうまく働かないことで、体内に熱が溜まることで発症します。

### ■熱中症の症状

症状としては、めまいや大量の発汗、頭痛、さらには吐き気やだるさなどの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。

### ■熱中症の予防

- ▽朝食をしつかりとする
- ▽こまめに水分・塩分をとる
- ▽通気性のよい、吸湿・速乾の服を着る
- ▽保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす



- ▽外出時は日傘や帽子を着用する
- ▽室内ではこまめに換気し、扇風機やエアコンを使用する

### ■注意すること

- 暑さの感じ方は人によって異なります。いつもと調子が違うと感じたときは、早めに休憩しましょう。
- 熱中症患者のおよそ半数は高齢者です。畑仕事などの際は、喉の渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をするように心がけましょう。
- 屋外だけでなく、室内でも熱中症は発症します。家族や近所での声を掛け合い、お互いの様子を気遣いましょう。

### ■熱中症になったときは

- ①涼しい場所へ避難させる
- ②服を脱がせ、体を冷やす
- ③水分・塩分を補給する
- ※自分で水を飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

(保健師 中山 明日香)

## 後期高齢者医療被保険者証の更新について

現在、対象者（75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいがある制度加入した人）の皆さんに交付している後期高齢者医療被保険者証の有効期限は、7月31日です。8月1日以降に病院などを受診するときは、郵送された新しい被保険者証を使用してください。

### ■後期高齢者医療制度の医療費自己負担割合

- ▽一般世帯の人の自己負担割合は1割、現役並み所得者の自己負担割合は3割となります。（同世帯で住民税課税標準額が145万円以上の後期高齢者医療制度の被保険者がいる場合に該当）
- ▽医療費の自己負担割合が3割の人の収入が次の基準のどちらかに該当するときは申請により、申請のあった月の翌月から自己負担割合が1割になります。対象者にはお知らせを郵送しますので、村役場窓口にて申請してください。

- ①同世帯にいる後期高齢者医療制度の被保険者の収入（必要経費控除前の金額で確定申告書の収入欄の額）の合計が520万円未満（単身の場合は383万円未満）。
- ②後期高齢者医療制度の被保険者（収入383万円以上で、同世帯に

ほかの被保険者がいない場合）と同世帯にいる70～74歳の人の収入合計が520万円未満。

### ■限度額適用・標準負担額減額認定証

▽限度額適用・標準負担額認定証とは、病院などを受診するときに認定証を提示することで、自己負担額が高額医療費の適用区分に応じた自己負担限度額までとなるものです。対象者は、**住民税非課税世帯の人**です。

▽対象者が現在使用している限度額適用・標準負担額減額認定証の有効期限も7月31日です。引き続き該当となる人には8月1日から使用する新しい認定証を郵送します。また、新たな該当者には、申請書を郵送しますので、村役場窓口で申請してください。なお、本年度の課税状況によって対象外となる人もいます。

## 20歳になったら国民年金

国民年金は年をとったとき、病気や事故で障がいを負ったときや一家の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えでつくられた仕組みです。厚生年金に加入している人や厚生年金に加入している配偶者に扶養されている人以外は、国民年金に加入することが義務付けられています。

20歳になったら忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

学生の人など、収入が少ないために国民年金保険料を納付できない場合は、保険料が免除になりました。納付が猶予される制度もあります。

詳しくは、村役場住民生活課または年金事務所にお問い合わせください。

## 消防署だより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

## 知っておこう 熱中症予防

▽次のことに注意し、熱中症予防に努めましょう。

- ① 水分をこまめに摂る  
のどが渇いていなくても、こまめに水分補給をする。
  - ② 睡眠環境を快適に保つ  
通気性や吸水性のよい寝具を使う、エアコンや扇風機を適度に使用するなど、睡眠環境を整える。
  - ③ 丈夫な体を作りましょう  
バランスのよい食事やしつかりとした睡眠をとる。
- ※屋内でも熱中症になります。高齢者や子どもは特に注意しましょう。

村内の火災・救急（5月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	2件	-1件
救急	22件	118件	±0件

## 水と山の事故を無くそう

▽例年、夏期（7月～9月）は水の事故や山での遭難が多く発生します。

### ■水難事故防止

- 県内では、昨年夏に7件の水難事故が発生し、6人が亡くなっています。
- 子どもだけで水辺で遊ばせない
- 用水路は危険
- 通学路や自宅周辺の安全確認

### ■山岳遭難事故防止

県内では、昨年夏に16件の山岳遭難事故が発生し、2人が亡くなっています。

- 家族に行き先を知らせて出掛ける
- 健康状態に合わせて行動し、無理をしない
- 万が一遭難したら翌朝まで待つ

### ■夏の交通事故防止県民運動

運動期間は、7月16日（火）から7月25日（木）までの10日間です。

### ①過労運転に注意

夏場は暑さによる疲れから、ぼんやり運転して事故を起こすことが多くなります。

村内の交通事故（5月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
人身事故	0件	1件	-2件
物損事故	6件	31件	-4件
負傷者	0人	1人	-3人
死亡者	0人	0人	-1人
飲酒運転検挙者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数……385日  
(5月31日現在)

④タメ、飲酒運転、絶対に飲酒運転は悪質な犯罪であり、罰金や免許の取り消しだけでなく、生活や家庭も崩壊させてしまいます。





## 募集します 海保庁・自衛官

令和2年度採用予定の海上保安庁職員や自衛官学生など募集します。

### ▷海上保安学校学生採用試験

■受付期間 7月16日(火)～7月25日(木)

■申し込み・問い合わせ 八戸海上保安部管理課(☎0178-33-1222)

### ▷自衛官の各種学生など

■申込期限 9月6日(金)

■航空学生(海) 高卒 23歳未満

■航空学生(空) 高卒 21歳未満

※海・空とも、高卒見込みを含む。

■一般曹候補生 18歳以上33歳未満

■申し込み・問い合わせ 総務企画課庶務財政班(☎42-2111内線168)・自衛隊岩手地方協力本部

二戸地域事務所(☎23-2529)

## 久慈地域における 復興の現場見学会

東日本大震災津波の記憶と教訓の風化を防止するため、復興の現場見学会を開催します。

■日時 8月4日(日)

午前10時～午後5時30分

※雨天決行、荒天の場合は中止。

■集合場所 二戸地区合同庁舎または久慈駅前

■定員 40人(無料)

■見学場所

三陸鉄道震災学習列車内から(久慈市～普代村)、普代水門(普代村)、野田村内、久慈地下科学水族館もぐらんぴあ(久慈市)

■申し込み・問い合わせ

県北広域振興局経営企画部(☎0194-53-4981)

## ラグビー国際試合 交通アクセス情報

7月27日(土)、釜石鶴住居復興スタジアムでラグビーの国際試合「日本代表対フィジー代表」の試合が開催されます。試合当日は、一般観客向けの駐車場はありません。来場の際は公共交通機関を利用するか、ライナーバスなどの交通手段を事前に申し込みください。

### ■交通アクセスと所要時間

各バスターミナルから釜石鶴住居復興スタジアムまで徒歩約10分。

### ◀ライナーバス(一部のみ記載)▶

発	着	時間(約)
盛岡駅	バスターミナル 片岸地区	2時間30分
北上駅		1時間30分
一ノ関駅		2時間30分
宮古駅		45分

### ◀パーク&ライド駐車場▶

※各駐車場からシャトルバス運行。

発	着	時間(約)
大槌地区 駐車場	バスターミナル 片岸地区	15分
遠野地区 駐車場		50分
平田地区 駐車場		20分

### ◀シャトルバス▶

発	着	時間(約)
釜石駅周辺	バスターミナル	25分
釜石市民ホール	鶴住居駅前	20分

### ■問い合わせ

RWC釜石開催交通輸送センター(☎019-907-0826)

## 休日当番医(9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
7	7	おりそ内科循環器クリニック	22-2251
	14	松井内科医院	33-2201
	15	菅整形外科皮膚科クリニック	23-7311
	21	川村医院	23-3252
	28	いちのへ内科クリニック	33-2701

## 休日当番歯科医(9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
7	7	堀米歯科医院	46-2927
	14	岩淵歯科医院	32-2238
	15	ムカイダ歯科クリニック	46-4636
	21	岩淵歯科医院	32-2238
	28	菅歯科	23-5161

## ごみ収集日 7月

収集区域	瀬内内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下/川向/南田	小倉/長興寺上・下/大向/五枚橋/荒田雪屋/田代/柿の木江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
不燃・ビン・金物	7月1日(月)	7月2日(火)	7月8日(月)
空き缶	7月16日(火)	7月22日(月)	7月23日(火)
粗大ごみ	7月9日(火)		
紙・プラ類	7月11日(木)	7月17日(水)	7月25日(金)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎ 住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123

### ◀納期のお知らせ▶

国民健康保険税 第1期  
後期高齢保険料 第1期  
固定資産税 第2期

**7月31日(水)**  
までに納めましょう。



## 「避難勧告に関するガイドライン」を改定

国の中央防災会議防災実行委員会、平成30年7月豪雨を教訓に避難対策の強化について検討。昨年12月に「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの報告のあり方について（報告）」がまとめられました。

報告の内容を踏まえ、「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、2019年出水期から警戒レベルを用いた避難情報が発令されます。

変更前	変更後
避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル3：避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告	警戒レベル4：避難勧告
避難指示（緊急）	警戒レベル4：避難指示（緊急）
	警戒レベル5：災害発生情報

※詳細については、内閣府ホームページをご覧ください。

■問い合わせ 総務企画課庶務財政班 (☎ 42-2111 内線 173)

## 人のうごき

(令和元年6月1日現在)

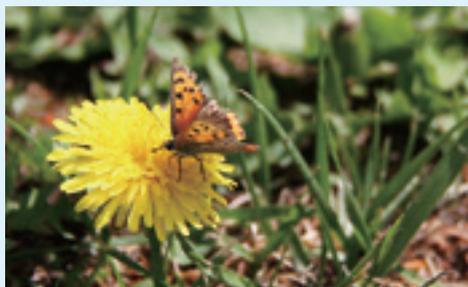
- 人口 5,748人 (-2)
- 男 2,754人 (-2)
- 女 2,994人 (±0)
- 世帯数 2,177世帯 (+2)

(カッコ内は前月比)

- 転入 10人 (45人)
- 転出 7人 (63人)
- 出生 2人 (9人)
- 死亡 7人 (45人)

(カッコ内は1月からの累計)

### スナッフくのへ+α



### 編集後記

◆東京多摩交響楽団演奏会の取材に行ってきました。楽器についてはまったくの素人ですが、プロが演奏する音楽は、何か心を惹かれるものがありました。◆演奏会の中で子どもたちが、楽団の演奏で「翼をください」を合唱。オーケストラの演奏で合唱をしたことがあります。とても気持ちよく、その時を思い出して思わず子供たちと一緒に、歌いそうになりました。(前川)

### 予防接種は かかりつけ医で

予防接種は、できるだけかかりつけ医療機関で接種しましょう。ほかの医療機関で接種するときは、必ずかかりつけ医療機関に接種可能か確認しましょう。

■問い合わせ 村保健センター (☎ 42-2111 内線 122)



疾走する一輪車に乗っていた園児も絶叫（一輪車でGO!）

年長児親子運動会

親子の笑顔で  
地域も笑顔に

6月15日、村体育センターで第43回村保育施設保護者会連合会年長児親子運動会が開かれました。村内3園から33人の園児とその保護者が参加。9つの競技に取り組みました。

第1の競技「障害物競走」では園児全員が参加し、障害物乗り越えながらゴールを目指しました。平均台渡りやハードルなど4つの障害物をもとせず、果敢に挑戦して



頑張った園児にメダルと絵本をプレゼント

いました。

親子全員で参加した「一輪車でGO!」は、農業用一輪車にわが子に乗せ、それを保護者が押してパイロンを一周し、一輪車をバトン代わりにつないでいく競技。子どもを落とさないように慎重に運ぶ保護者や、スピード重視で疾走する保護者などいて、乗っていた児童はスリルを感じながらも楽しんでいました。

親子で取り組んだダンスは、「にんげんっていいな」の音楽に合わせて踊りました。歌詞に合わせた振り付けを親子と一緒に踊り、和気あいあいとしたダンスに会場に来ていた観客からは、笑顔があふれていました。

親子での時間を過ごした年長児運動会。競技を通して生まれた親子の笑顔に、地域の人々も笑顔になっていました。

白組みんなで力を合わせます（マットとり合戦）



赤組と白組どちらも頑張れ!



平均台を慎重にわたる児童（障害物競走）

